

健康長寿産業連合会健康経営WG健康経営ビジネスサロン企画  
「健康経営先進事例セミナー」

# イトーキの健康経営

～課題の可視化と施策選定のためのデータ・トレッキングの活用～

2024年10月4日

株式会社イトーキ

八木佳子

## 自己紹介



八木 佳子 Yoshiko Yagi

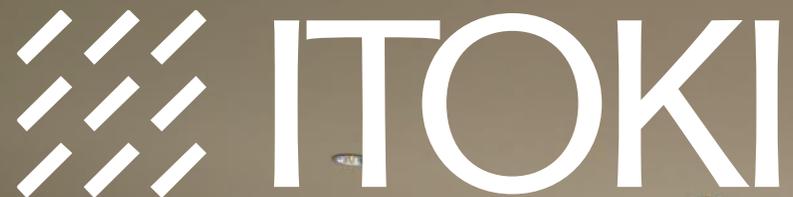
株式会社イトーキ 執行役員  
スマートオフィス商品開発本部  
ソリューション開発統括部 統括部長

イトーキ入社後、研究所にて家具の研究開発に従事。2012年から健康的で生産性の高い働き方と、それを支える環境や製品のあり方についての研究開発を担当。2015年経済産業省から「健康寿命延伸産業創出推進事業－健康経営に貢献するオフィス環境の調査事業」を受託、働き方と健康とパフォーマンスの関係についての調査結果をまとめ「健康経営オフィスレポート」として発行。

現在はデータを活用してオフィスとオフィスワーカーの生産性を高める事業開発を担当。

認定人間工学専門家

認定ファシリティーマネージャー



社 名 株式会社イトーキ  
本 社 東京都中央区日本橋2-5-1  
資 本 金 52億9400万円  
創 業 1890年12月1日  
設 立 1950年4月20日  
事業内容 ワークプレイス事業  
設備機器・パブリック事業  
IT・シェアリング事業  
従 業 員 連結3,892名  
単体2,153名 ※2023年12月末時点

# オフィス

Office



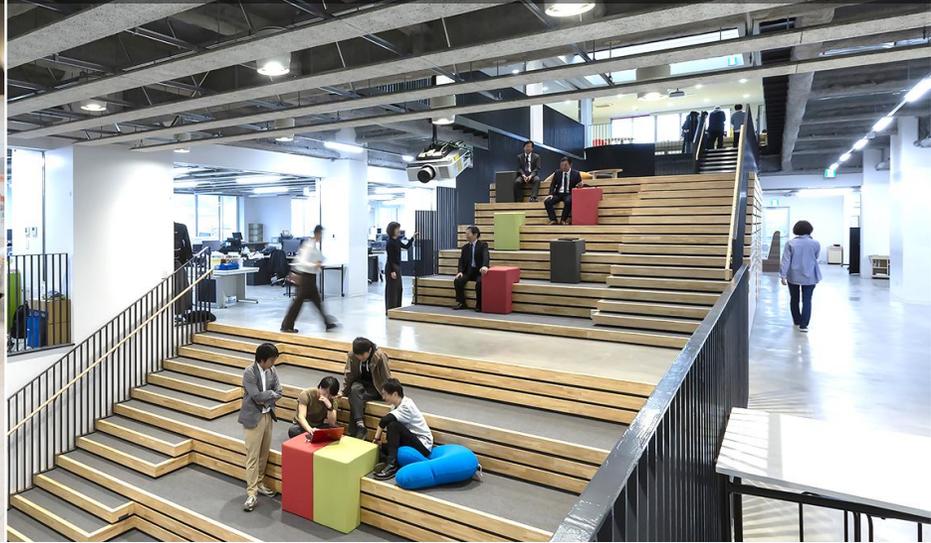
# 病院

Healthcare Facilities



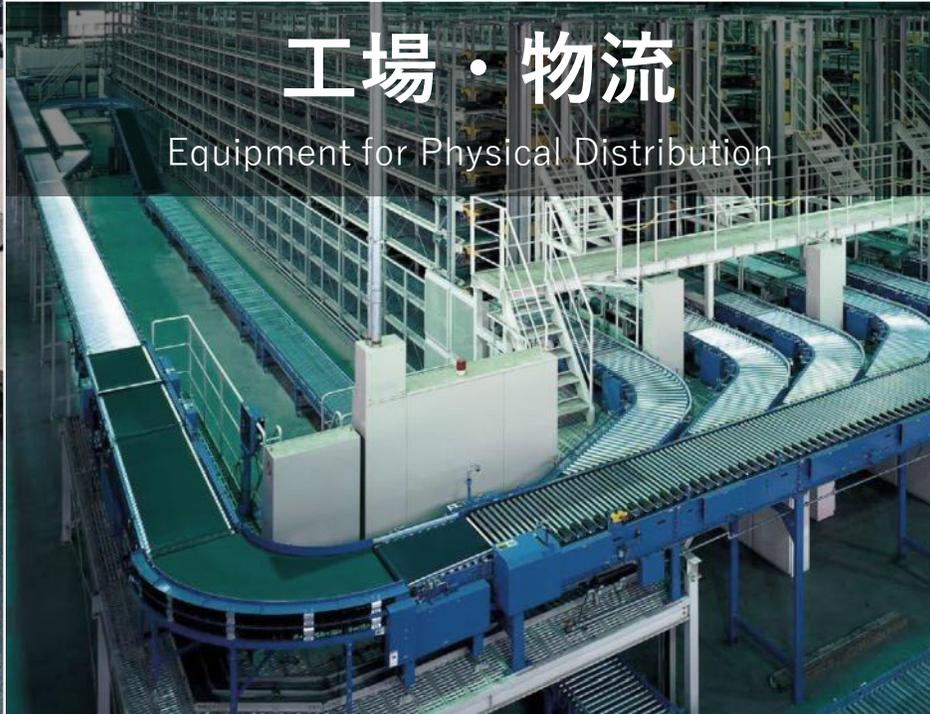
# 学校

Education Facilities



# 工場・物流

Equipment for Physical Distribution



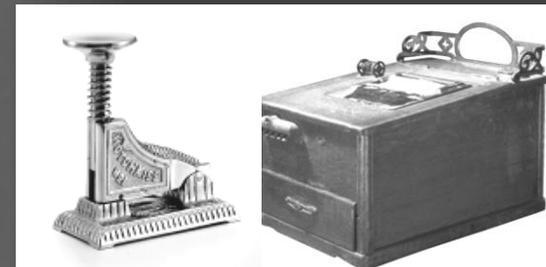
# 研究所

Laboratories





1890  
Import



1950~  
Product



1960~  
System  
&  
Design



2000~  
Work Style



## オフィス家具



## 空間設計



## 空間をつなげるデジタル技術の融合



## 働き方のコンサルティング (ABW)

高集中	コワーク	電話/WEB会議	2人作業	対話
116席	167席	29席	56席	139席
アイデア出し	情報整理	知識共有	リチャージ	専門作業
86席	208席	109席	190席	0席



明日の「働く」を、**デザインする。**

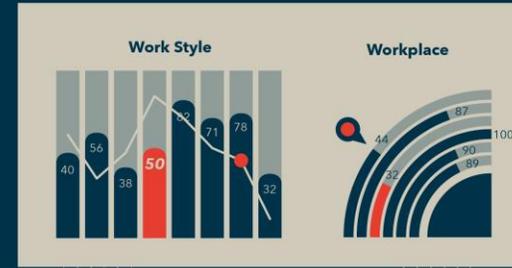
OFFICE  
生産性  
の向上

3.0 働き方ベースの  
オフィスDX事業

2.0 空間ベースの  
商品ソリューション提供事業

1.0 プロダクトベースの  
商品販売事業

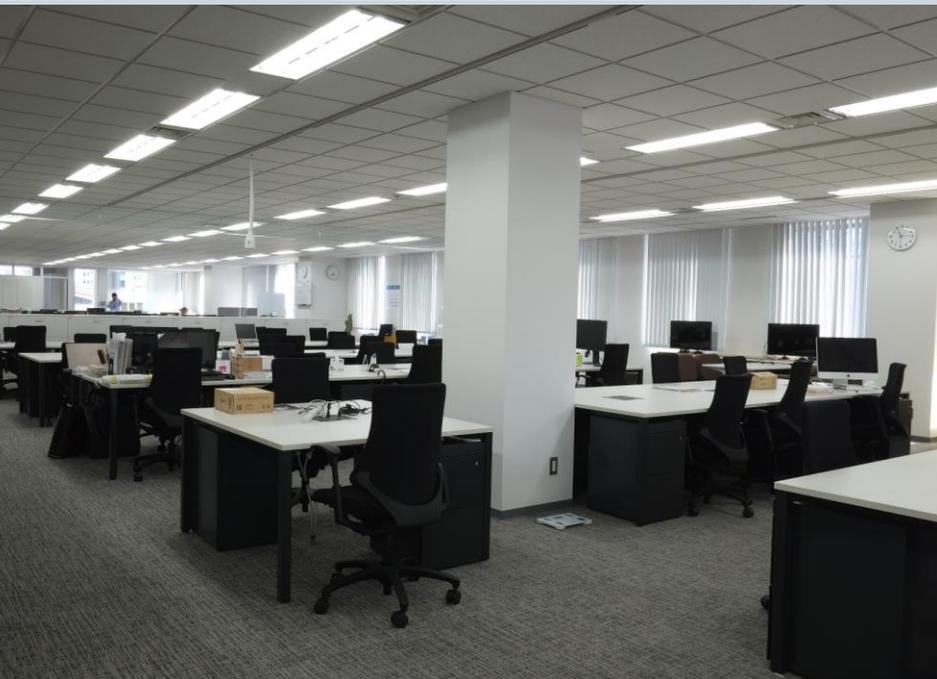
# Data Driven



# 移転プロジェクト



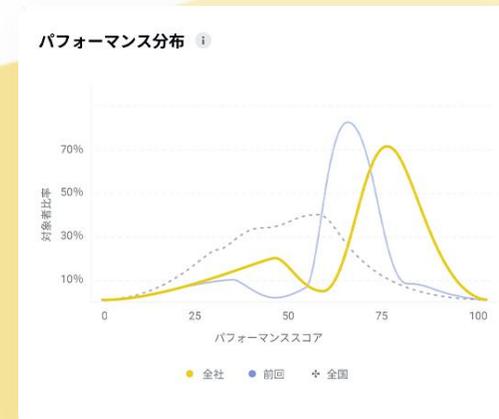
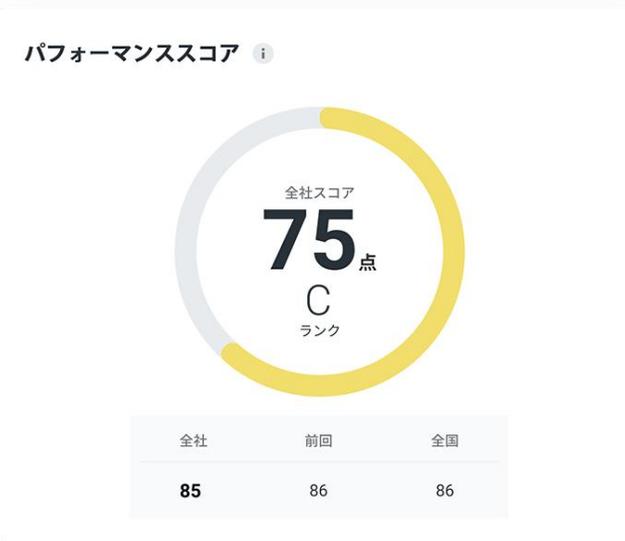
# 移転前



# Well BeingとPerformance を可視化する

## Performance Trail

組織と個人のパフォーマンス診断サービス



# パフォーマンス・コンディション・改善ポイントを把握



## 三層構造の パフォーマンス モデル

### Social

組織のコンディション

- ソーシャルキャピタル

### Mental

心のコンディション

- ワークエンゲイジメント
- ストレス

### Physical

身体のコンディション

- ロコモ
- パンデ
- メタボ

### ビジネススタイル

- 報酬
- 裁量
- 業務適正
- 業務負担
- 心理的安全性
- 仕事の主体性

### ワークスタイル

- コミュニケーション
- 休憩
- 身体活動
- 食事
- 快適性
- 清潔
- 健康意識
- コミュニケーション (在宅)
- 休憩 (在宅)
- 身体活動 (在宅)
- 快適性 (在宅)

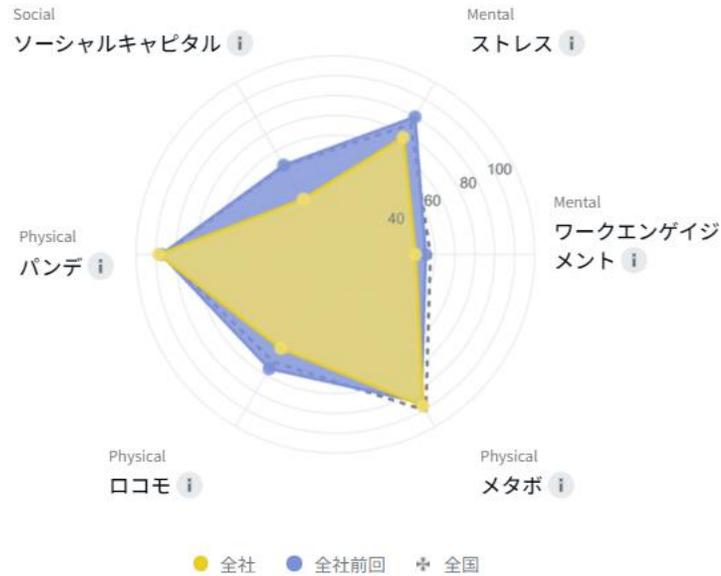
### ライフスタイル

- 運動
- 栄養
- 休養

# 手を打つべき健康課題は何か

## コンディションスコア i

概要 詳細



コンディション	全社	全社前回	全国
ソーシャルキャピタル	32.1	51.9	51.5
ストレス	68.1	79.9	75.6
ワークエンゲイジメント	40.3	45.3	47.7
メタボ	88.1	86.1	90.8
ロコモ	54.6	66.4	62.5
バンデ	88.7	87.3	86.2

### Strong Point

強く影響する項目

全社 全社前回 全国 詳細

### Weak Point

強く影響する項目

全社 全社前回 全国 詳細

ホーム

レポート

新規顧客の追加

ユーザー管理

マイアカウント

# Performance Trailの効果モデル

## パフォーマンス ⓘ



## ソーシャルコンディション ⓘ



ソーシャルキャピタル

## メンタルコンディション ⓘ



ワークエンゲイジメント



ストレス

## フィジカルコンディション ⓘ



ロコモ



メタボ



パンデ



心理的安全性



仕事の主体性

## ワークスタイル ⓘ



コミュニケーション



休憩



身体活動



食事



快適性



清潔

# 改善すべきところはどこか

## Strong Point

強く影響する項目

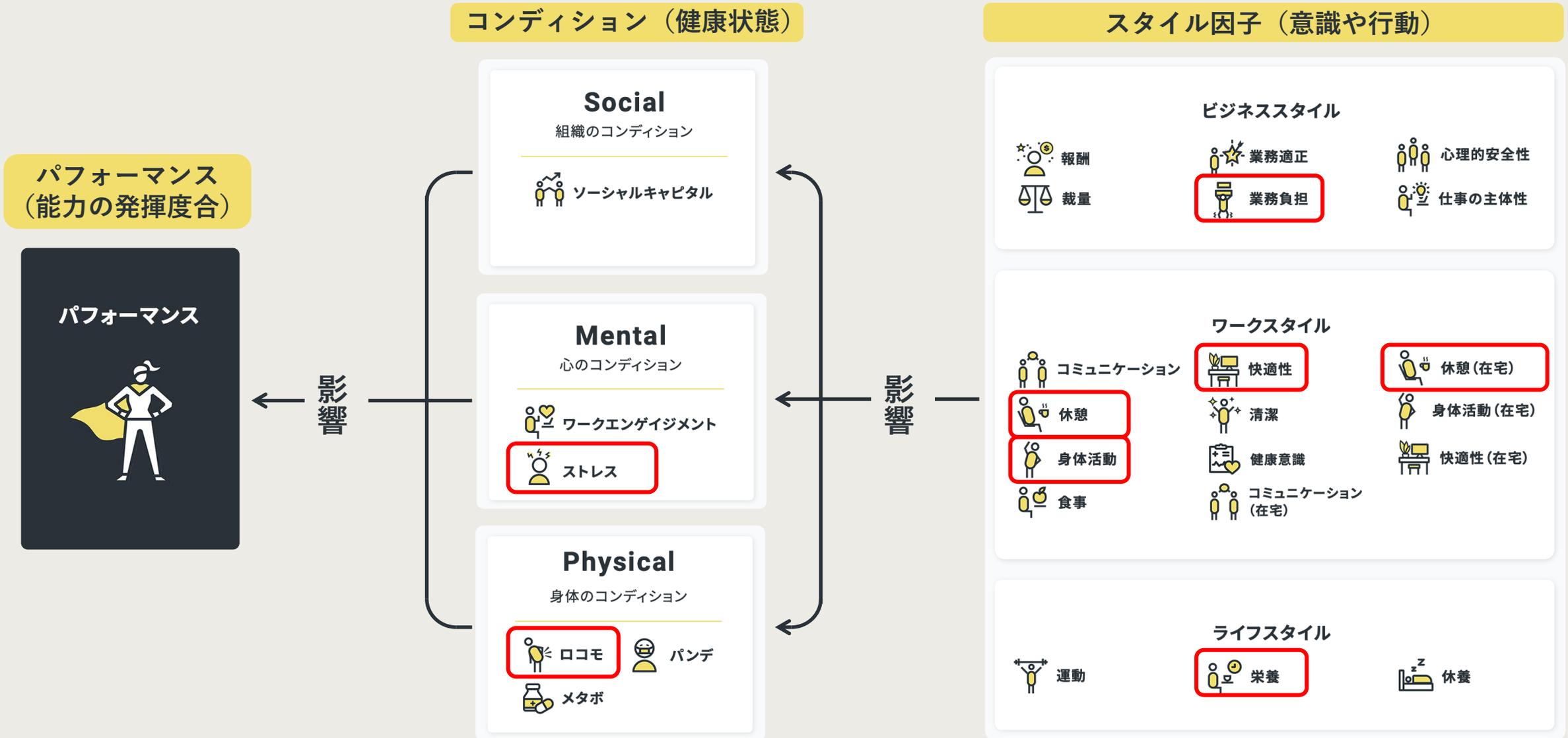
	全社	全社前回	全国	詳細
 裁量 ⓘ	92.4	59.8	58.6	▼
 コミュニケーション（在宅） ⓘ	61.5	26.4	28.4	▼
 快適性 ⓘ	65.0	51.1	53.4	▼
 業務負担 ⓘ	50.9	50.6	48.1	▼
 清潔 ⓘ	67.4	66.1	68.9	▼
 食事 ⓘ	69.8	68.9	67.8	▼
 健康意識 ⓘ	36.2	35.9	38.0	▼
 コミュニケーション ⓘ	55.7	53.2	57.4	▼

## Weak Point

強く影響する項目

	全社	全社前回	全国	詳細
 心理的安全性 ⓘ	9.9	55.9	58.3	▼
 休憩 ⓘ	23.6	60.4	62.0	▼
 運動 ⓘ	23.2	38.6	42.4	▼
 休憩（在宅） ⓘ	64.5	69.5	68.5	▼
 業務適正 ⓘ	55.1	55.6	55.8	▼
 身体活動 ⓘ	39.0	36.7	42.2	▼
 休養 ⓘ	69.2	66.4	69.6	▼
 身体活動（在宅） ⓘ	61.4	64.9	61.0	▼

# 現状の健康状態と意識・行動課題を把握する



# 現状の健康状態と意識・行動課題を把握する

## コンディション（健康状態）

## スタイル因子（意識や行動）

 **ストレス**    ー 疲れを感じる

 **ロコモ**  
ー 目の疲れ  
ー 肩こり・腰痛

 **休憩**  
出社・在宅    ー 昼休みや短い休憩がとれていない

 **栄養**  
ー 食生活の乱れ（時間）

 **身体活動**  
出社    ー 身体活動量の不足

 **快適性**  
出社    ー 人の立てる音や視線が気になる

# 意識・行動変容の施策

コンディション（健康状態）

スタイル因子（意識や行動）

 **ストレス**    ー 疲れを感じる

 **ロコモ**    ー 目の疲れ  
ー 肩こり・腰痛

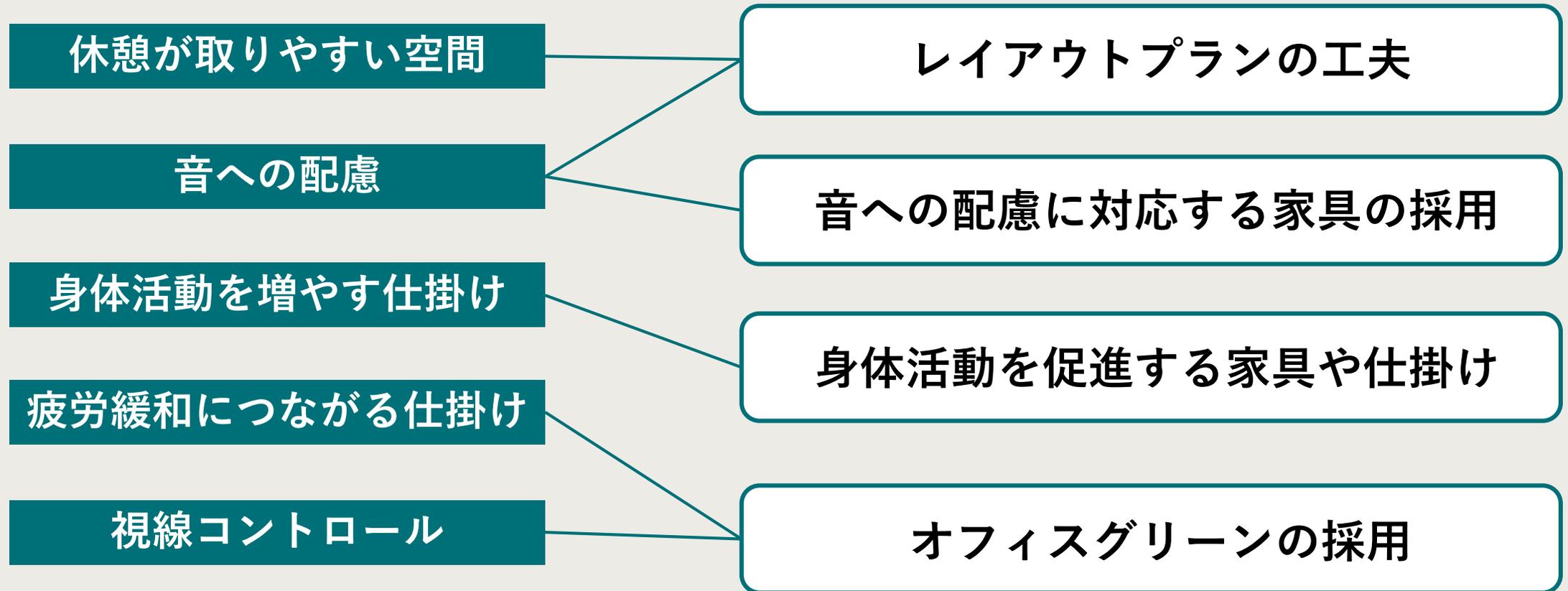
 **休憩**    出社・在宅  
**休憩が取りやすい空間**

 **栄養**    ー 食生活の乱れ（時間）

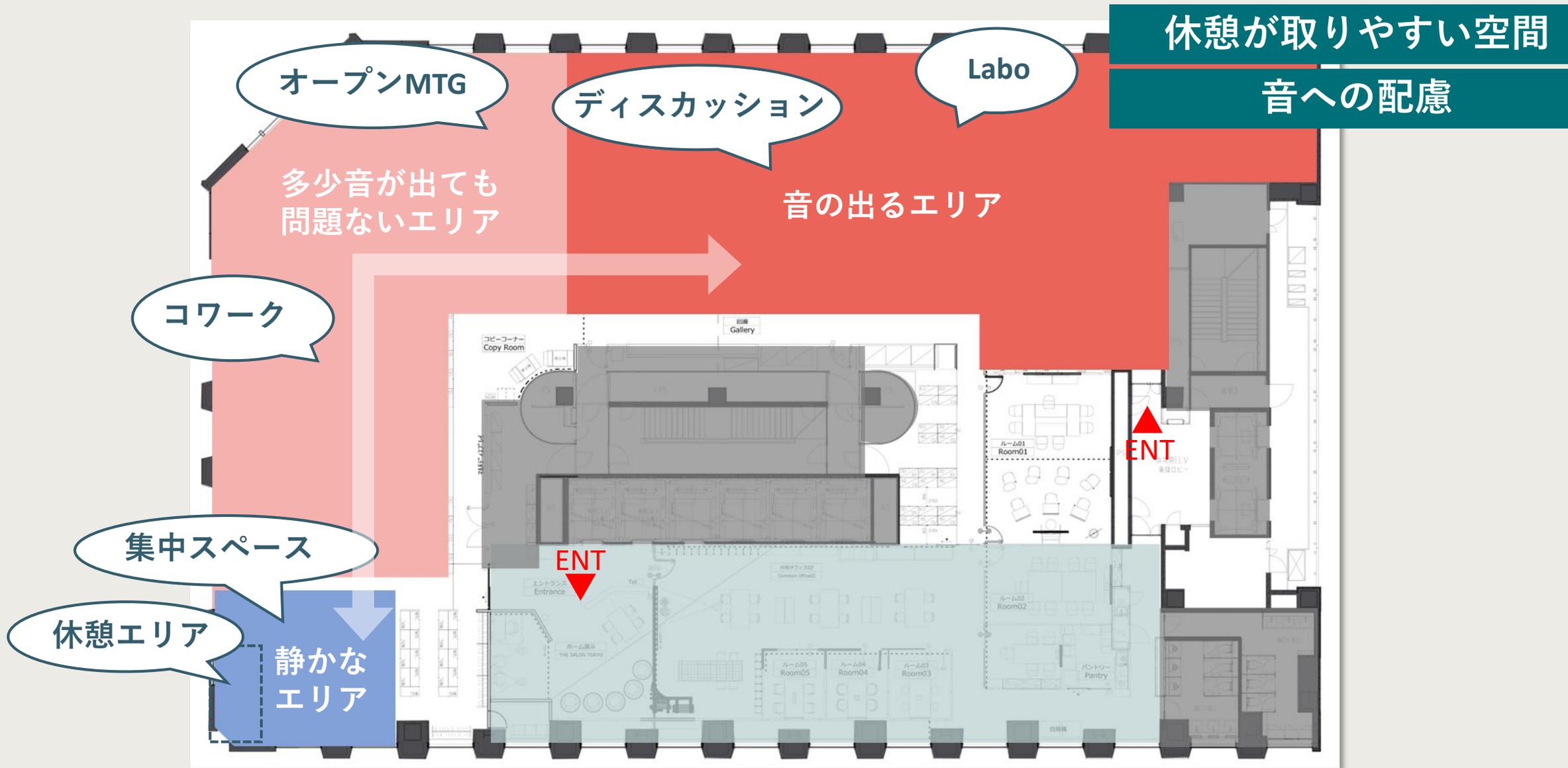
 **身体活動**    出社  
**身体活動を増やす仕掛け**

 **快適性**    出社  
**疲労緩和につながる仕掛け**  
**音への配慮**  
**視線コントロール**

# 具体的な施策



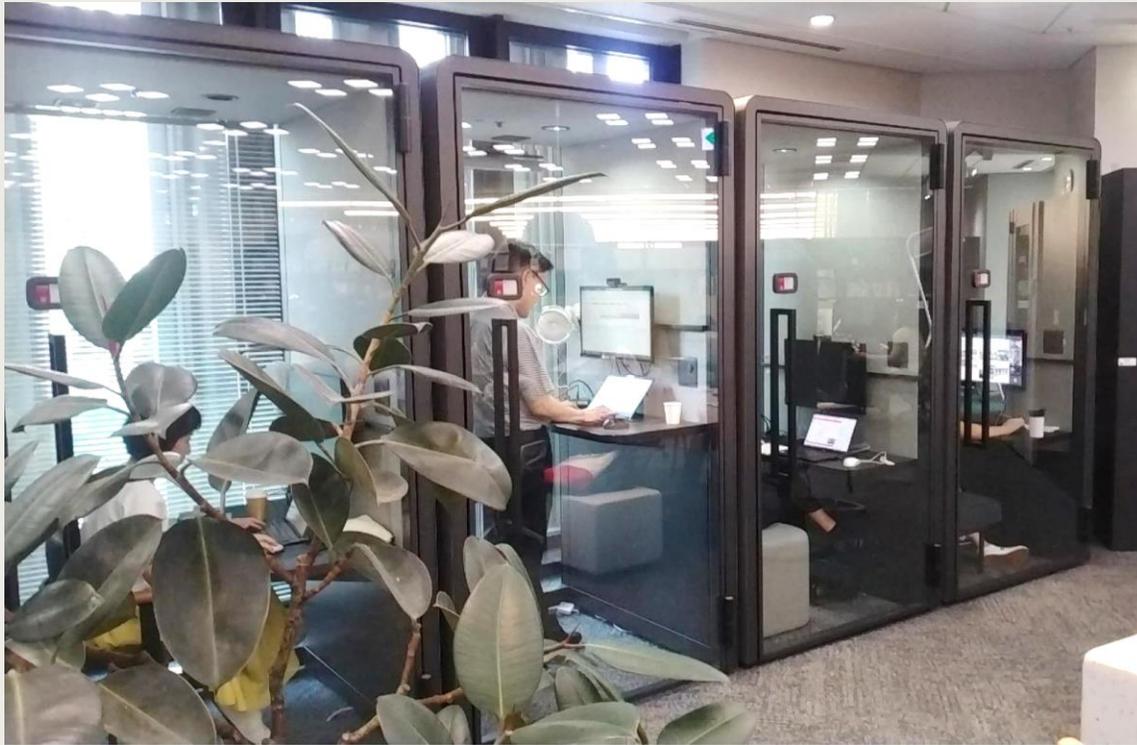
# 【施策】レイアウトプランの工夫



# 【施策】音への配慮に対応する家具の採用

音への配慮

オンライン会議中の音への配慮



オープンスペースでの音への配慮



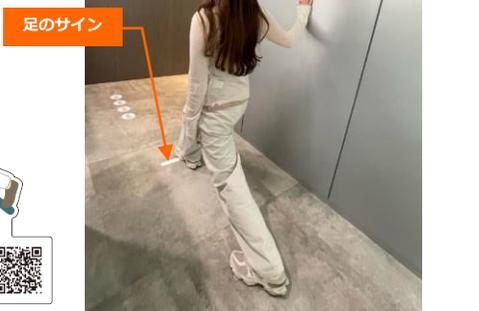
# 【施策】 身体活動を促進する家具や仕掛け

## スタンディングワーク



## 身体活動を増やす仕掛け

## ストレッチ ポイント



# 【施策】 オフィスグリーンの採用

## オフィスグリーンの効果

- 疲労緩和
- リラックス効果
- 集中力のサポート
- ゆるやかな仕切り



疲労緩和につながる仕掛け  
視線コントロール



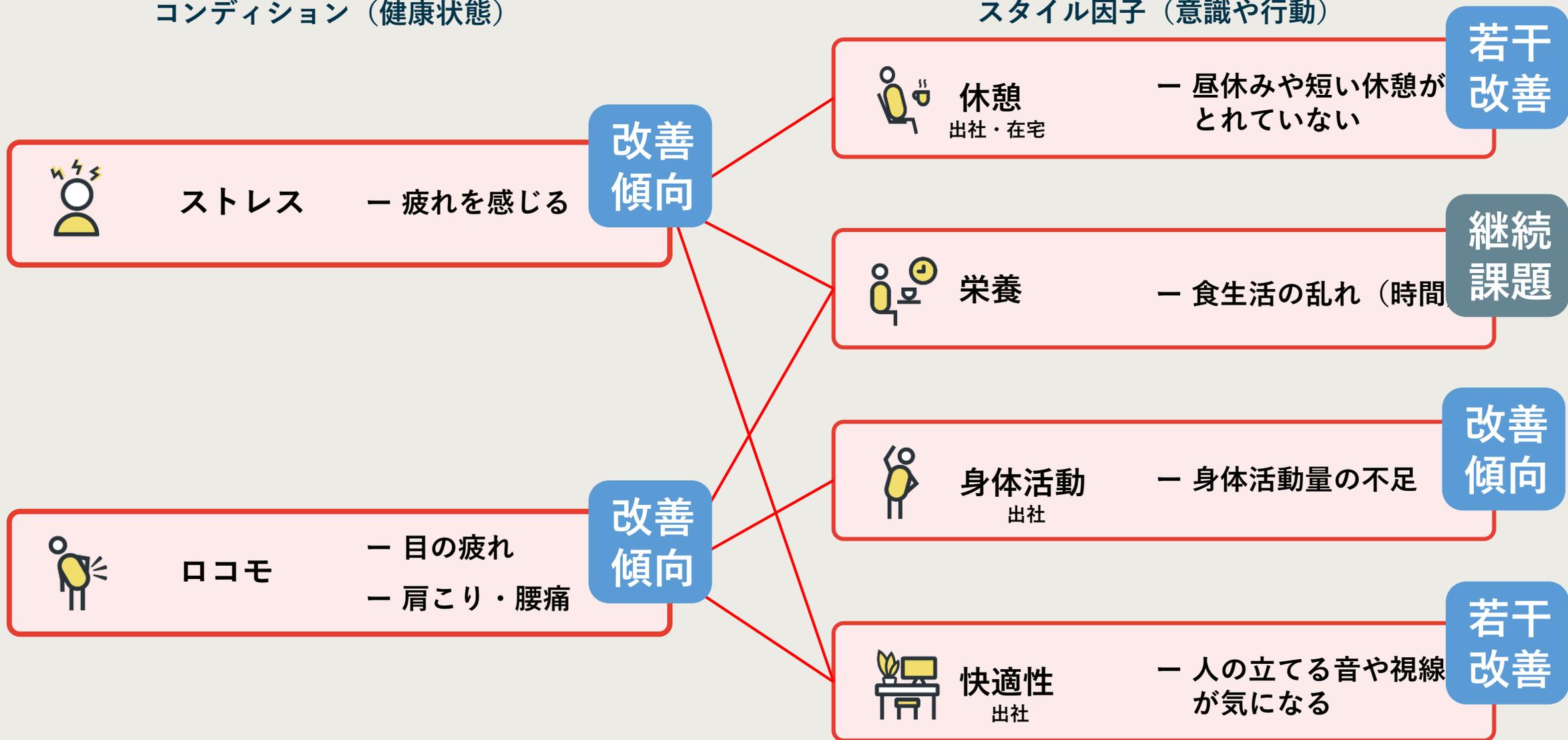
# 移転後



# 移転後の効果検証

コンディション（健康状態）

スタイル因子（意識や行動）





# Data Trekking



## Data Trekking とは

コンサルティングサービス

# Data Trekking

オフィス構築とその運用を  
継続的に進化させるために  
データを「道標」にしながら  
お客様と共に歩み続けます

ビジネス環境の変化が大きく急激になってきたいま、どんなに良いオフィスも、人の活動やニーズの変化に合わせて最適化していかなければ、オフィスワーカーの生産性は低下してしまいます。

イトーキは働き方と働く環境をデータで捉え、その関係性をモニタリングし、ミスマッチを早期に発見・予知しながら、オフィスの継続的なアップデートを伴走型でサポートします。

# データの収集ツール

## スペース稼働データの収集ツール



位置情報や予約情報を活用して  
各スペースの稼働や人の活動を可視化

Powerd by EXOffice



BLEビーコン

Hoteling Label



予約状況表示

## 組織サーベイデータの収集ツール



個人や組織の  
パフォーマンスとコンディションを可視化





COMPANY

## 1人



## 2,3人

### 二人作業

二人が近距離で横並びになり、じっくりと行う作業。



### 対話

二人もしくは三人で行う議論や会話。予約でも突然でも良い。



## 3人以上

### アイデア出し

新たな知識やプロセスを構築するために、三人以上の協働活動。



### 情報整理

計画の進捗を整理・議論するための、三人以上の計画された会議。



### 知識共有

三人以上のグループによる知識共有。主にプレゼンターが話す。



## その他

### リチャージ

仕事から隔絶し、チャージや心身の切り替えを行う。



### 専門作業

特別な設備を必要とする専門的な業務。





- 位置情報
- チェックイン
- ホテリング
- オフィス環境
- マイポータル
- オフィス診断
- ABW分析
  - ABW日単位滞在分析
  - ABW滞在時間分析
- モニタ
- 履歴
- マスタ

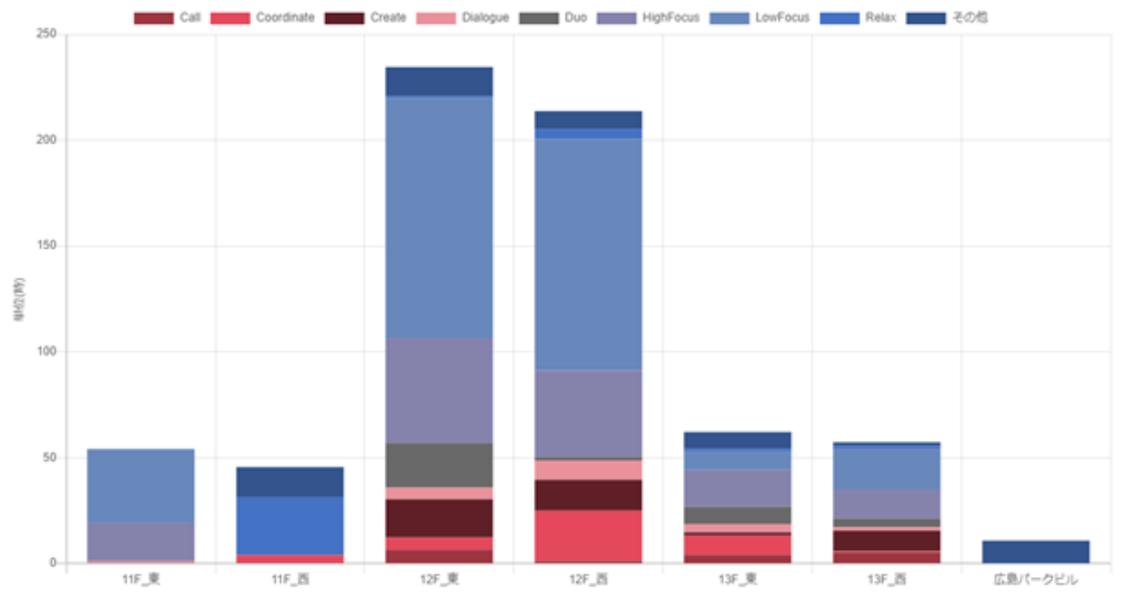
## ABW分析 / ABW滞在時間分析

期間 2022-03-16 09:23:27 ~ 2022-03-19 09:23:27

絞込み

集計(軸) 日 集計(積上) エリア

表示    ダウンロード

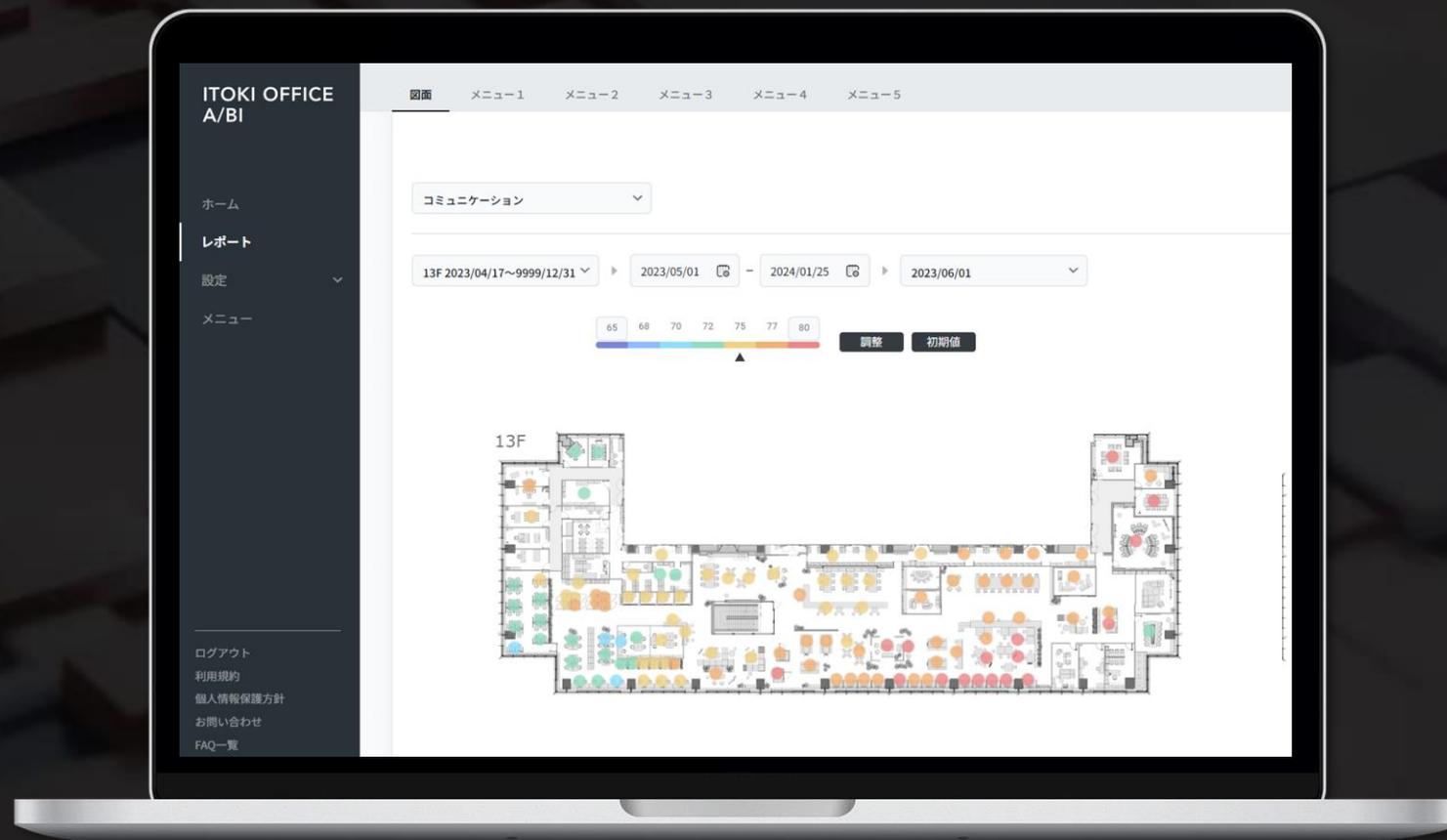


データ分析ツール

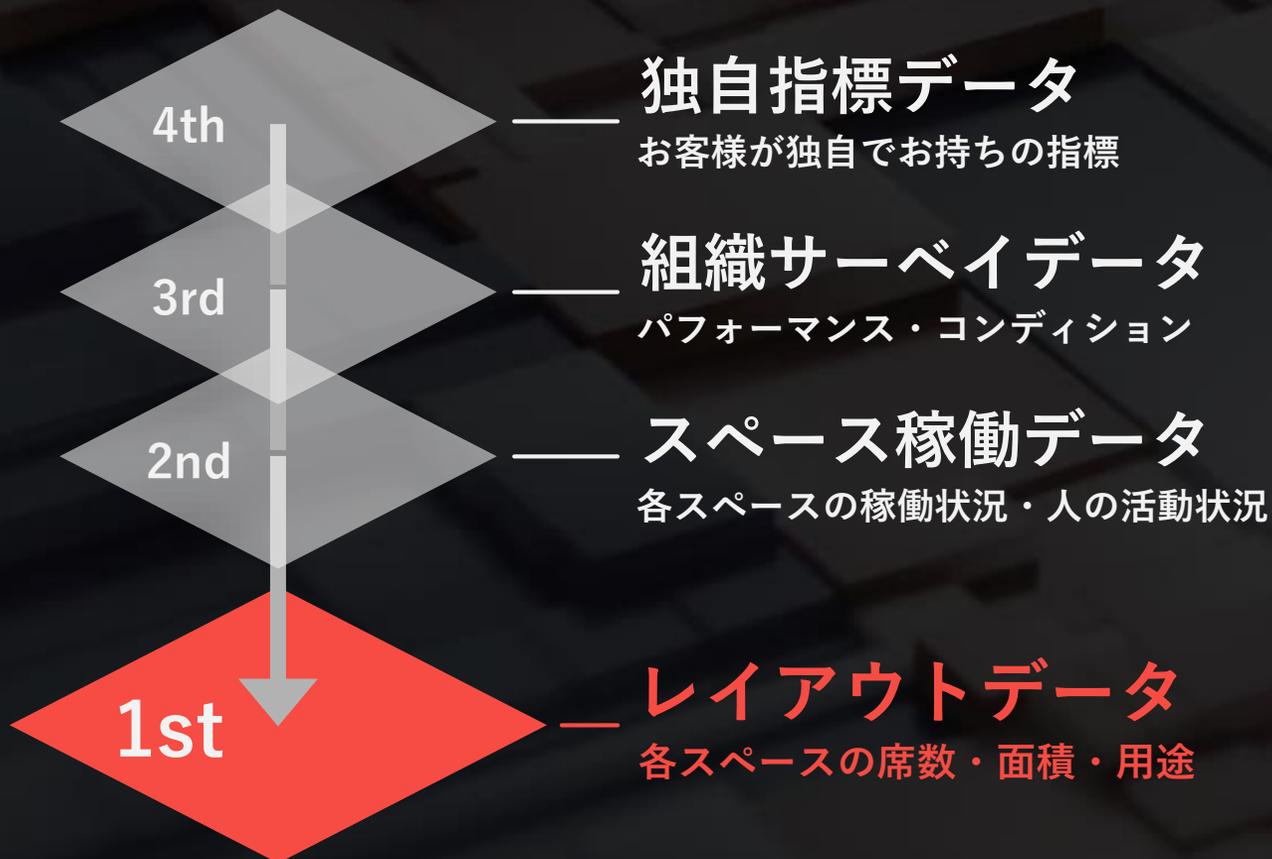
# Office Data Map

オフィスデータマップ

オフィスの使い方と  
パフォーマンスやコンディションの関係を  
視覚的に把握・検証できる分析ツール

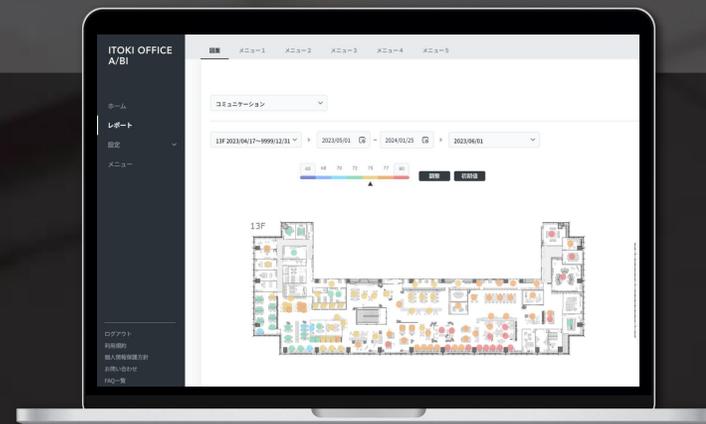


## 4層のデータをマッシュアップ



## 膨大なデータを一目で把握

オフィスレイアウト上にスペース稼働データや組織サーベイデータをマッシュアップすることで、設計者や運営者だけでなく最終的な利用者もオフィスをより深く理解し、働き方と働く環境を進化させるための洞察を得ることができます。



Innovation



自己編集型ワークスタイルを実現する。

# Flexible

仕事の状況、自分の状況に応じて、  
ワーカー自身が自由に働き方をデザインすることができる。  
そして、より良い働き方を自ら常に開発することができる。  
そういった働き方が、効率を高め、  
働くマインドをポジティブにし、創造性を高め、  
新しいイノベーションを生み出していく。

永遠に未完成なオフィスを創る。

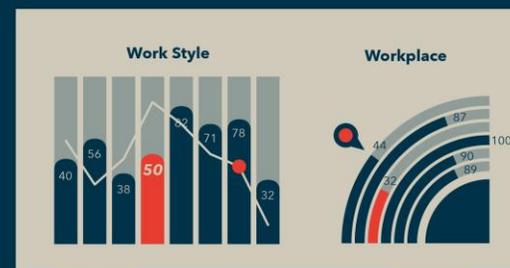
# Agile

自己編集型の自由なワークスタイルにより、  
個々の働き方の多様化や細分化が進展する。  
それを支える働く環境は、ショートターム、スモールスケールで、  
機敏に変化を許容するダイナミックなものでなければならない。  
データドリブンで常にワーカーに寄り添い進化し続ける、  
永遠に未完成のオフィスが必要であり、そしてそれは、  
予測困難なVUCAの時代にも対応するアジャスタビリティを持つ。

# 構築 + 運用

「働き方」とそれを支える「働く環境」。  
この2つの間の良好な関係性が生産性向上のカギ。  
両者を**データで捉え、常に関係性をモニタリングし**、  
ミスマッチを早期発見、予知していく。  
「働く」をデータで見える化することが  
アジャイルなオフィスを可能にする。

# Data Driven



OFFICE  
**生産性**  
の向上

3.0 働き方ベースの  
オフィスDX事業

2.0 空間ベースの  
商品ソリューション提供事業

1.0 プロダクトベースの  
商品販売事業

ご清聴ありがとうございました

明日の「働く」を、**デザインする。**